

こども探検隊

6月の「こども探検隊」の企画は「暑中見舞いの作り方」教室です

今回は川崎教育サークル TOSS(Teachers' Organization of Skill Sharing)に参加されている川崎市立小学校の先生方が参加します。桜井健一、森川敦子両先生が講師として来られ、楽しい暑中見舞い作りをお手伝いします。こうした手紙はなかなか情緒があって、もらった人に喜ばれます。お友達と一緒に、お気軽にご参加して、楽しい暑中見舞い作りに挑戦しましょう。

日時：6月18日(土)10:00～ 開始
集合：NPOエリマネ・フリースペース (リエトプラザII)、雨天実施
持ち物：筆記用具
会費：100円 (傷害保険代・材料代含む)



今年の飾り作りの様子

ちょっと小さな交流会

5月の交流会は、ご近所のお役立ちスポットやお店について情報交換をしました。NPO理事長の小杉の歴史や、今後益々便利になる小杉駅周辺開発のお話から始まり、「出前のあるお寿司屋さん?」、「ケーキが美味しいお店」、「日曜日に開いている近所の病院」等、小杉のマップを見ながら、みなさんのお話が続きました。

6月のちょっと小さな交流会の企画は、「声を合わせてみんなで歌いましょう」です。

お歌の先生の声やピアノ伴奏に合わせて歌えば、音程が少々外れてもわかりません。皆で歌って楽しい時間を過ごしましょう。その後皆さんでおしゃべりをします。

歌は・浜辺の歌・ふるさと・ばらが咲いたなどです。歌の先生の独唱も聞けるかも。

日時：6月10日(金) 13:30～
場所：エリマネフリースペース (リエトプラザII)



5月の交流会の様子

震災・その時その後 第3回「被災地東北に向う」

先月、思いがけず、激甚被害を受けた宮城県に行く機会を得た。本コラムでは、東日本大震災がこの再開発地区に与えた影響と、我々の取組みについて書いているが、自らの被災地体験に触れてみたいと思う。

文/中丸育穂

東北には縁がなかったが、あるきっかけでボランティアとして行くことになった。ボランティアと名乗るのはじつはおこがましくて、せいぜい「運び屋」といったほうがいい具合である。目的地は宮城県南三陸町。今回の震災で激甚な被害のあった地区のひとつだ。そこに「冷蔵庫」を持っていくのである(その他支援物資も)。

クルマで約7時間、三陸の山を越えた瞬間、景色が一変した。それまでの日常がぐらりと、たしかに揺らいた。

折れた木々、砕かれた家屋などが瓦礫の「だま」になってあちこちに点在し散乱している。海まではだいぶ距離があるのに。ここまで波が押し寄せたのか。車窓からはまともな家など見えない。

瓦礫の「だま」は、町へ向かって行くにつれて、どんどん数が増え大きくなっていった。

われわれは、現地のコーディネータたちと合流するため、避難場所になっている志津川中学校に向かった。

中学校は高台にある。避難民は300人ほどいたらしいが、昨日今日で一部の人たちが近所のホテルへと移動している。6人部屋とはいえ、あるていどプライベート空間も保証されている場所は誰もが願っていたらしい。「意地を張って中学校にとどまっても新しい展開もないしね」と話してくれた方は昨日引越しを終えたばかりだという。

高台にある中学校から志津川地区全体が見渡せる。ほぼ壊滅状態だった。瓦礫の山がいくつも連なっている。いくつかの建物がかろうじて立っている。それらはいずれも崩れんばかりである。その向こうにいまは静かに海がきらめいていた。初夏を感じさせる日差しは、高台に乾いた風が強く吹いている。メディアの中継車が数台待機していた。

中学校の駐車場で、コーディネートしてくれるKさん、Dさんに挨拶をする。Kさんは仙台で働いていたが、実家が津波でなくなりこちらに戻ってきている。Dさんは漁師さんが家も船も流された。ふたりを含めて数人の若い人たちが、この避難所の自治を仕切っていたようだ。彼の案内で、目的地のひとつである戸倉地区に向かった。(この項、つづく)



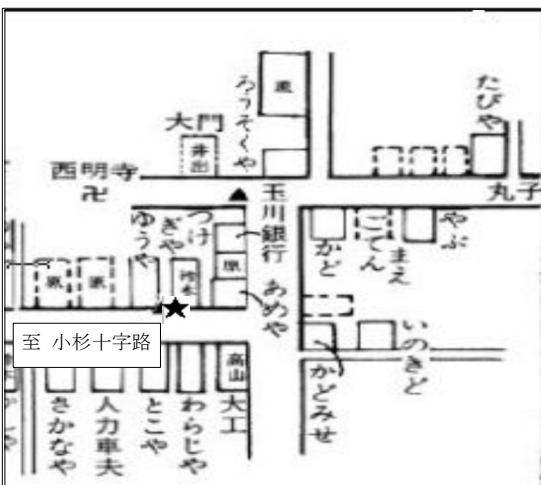
東北現地の様子

花植え体験をしたい方へ!

◆区役所は区役所花壇で行う花植え参加者を募集しています。花植え体験を通して、花のある緑のまちづくりに参加してみませんか。次の要領で、どうぞ； 場所：中原区役所
日時：6月11日(土) 10:00～正午
人数：25人程度 お申込みは先着順
お問い合わせ・申込み：中原区役所地域振興課 744-3324

中原区エコカフェ

◆オープンカフェ (スターバックス協力) 既にお持ちのマイボトルを持ってお茶しましょう!
◆体験コーナー (富士通スポーツチーム協力) 女子バスケット、アメリカンフットボール選手たちと ボールを持って、いろいろな体験をしてみましょう!
◆環境「楽習会」ゴーヤーの育て方相談会、地産地消!野菜販売等
場所：市民ミュージアム(トーマス転炉前広場)
日時：6月5日(日) 10:00～15:00 (雨天時:6月12日へ順延)
お問合せ：中原区役所企画課 744-3149



明治から大正にかけての中原街道かぎ部の家並図と、今ある案内板▲と供養塔★

昭和四十年頃取材の記事を『...』で困んでご紹介し、その中で『...』(以下略)の書きで今までの様子を紹介をします。『西明寺の前から』

『...』(以下略)の書きで今までの様子を紹介をします。『西明寺の前から』と道しるべがあることです。『...』(以下略)の書きで今までの様子を紹介をします。『西明寺の前から』と道しるべがあることです。『...』(以下略)の書きで今までの様子を紹介をします。『西明寺の前から』と道しるべがあることです。

中原街道32 (宿駅) 小杉駅と供養塔 寛文十三年に 小杉が宿駅に指定 先月号で、現在カギの道角・西明寺参道入口にある案内

昭和四十六年に発行された「中原街道小杉から久末までをたずねて」を参考とした歴史研究を基礎に掲載しています 板(現在地・左家並図▲印)の江戸初期古地図と道路改修計画の説明をしました。ここでは明治から大正に掛けての周辺家並図を掲載し、

カギ形の道を曲がった所に「附木屋(つけぎや)」という店があり、その左横には、附木屋の先祖、鈴木戸右衛門が建てた供養塔(現在地・上記記載の家並図★印)があります。電柱が立ち、バスの停留所にもなっているのを見にくいですが(現在もバス停留電柱があり道の反対から撮った写真を次号に添えます)、よく気をつけると、他の供養塔にないものを発見できます。一つは「武州橋郡稲毛領小杉駅」との文字があること、もう一つは、土台部分に「東江戸・西中原」と道しるべがあることです。